

2021/10/02(土)01:27

科目番号	授業科目	英語科目名	単位
25897	科学コミュニケーション演習1 K	Science Communication Seminar I	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員
2021年度 後期	月曜7限	演習	今野 英明
科目ナンバリング			
科目区分	<p>専攻科目 (国際協働グループ) 異なる国や民族・地域・文化・社会をつなぐ国際協働の現場において必要となる、グローバルな実践的課題解決能力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域政策グループ) 地方行政や「新しい公共」を担うNPO/NGO等諸集団や企業などとの多様なネットワークを構築する能力と、地域の課題解決に取り組む実行力を身につけることを目的とする。</p> <p>(地域環境科学グループ) 地域の環境問題解決のための科学・技術の役割を理解して、その方法論と技術を身につけ、さらに、新たな知識・技能を主体的に学び続けようとする態度、探究力、批判的な思考力などを身につけることを目的とする。</p>		
授業概要	<p>環境科学または代数、幾何、解析などに関する数学の文献購読を通して、高度で現代的な環境科学または数学的理論を理解し、新たな知識を獲得する。そして、環境科学または数学的知識を人に効果的に伝えるためのプレゼンテーション能力を高める。さらに、研究活動に必要なコンピュータプログラミングの能力を高める。</p>		
対応するディプロマ・ポリシー	<p>地域学を支える諸科学の専門知識を身につけている。</p>		
到達目標	<p>(1) 一連の学習過程において、書物から学んだ環境科学または数学的知識を自分のことばで表現するための知識の再構築ができる。</p> <p>(2) 知識を他者に効果的に伝えるための、分かりやすい説明の仕方や表現力の向上に取り組むことができる。</p> <p>(3) データを扱うコンピュータプログラミングを行うことができる。</p>		
授業計画	<p>第1～3週 環境科学または代数、幾何、解析などに関する数学の文献を検討する。</p> <p>第4～6週 第1～3週の成果を踏まえて文献購読を通して、高度で現代的な環境科学または数学的理論を理解し、新たな知識を獲得する。</p> <p>第7～9週 文献購読の演習活動を継続し、経過を発表して議論する。</p> <p>第10～12週 演習の意図と結果を図と文章で記述しクラス全体に説明する。</p> <p>第13～15週 授業経過を自己評価して次に学習を発展させる方向をプレゼンテーションする。</p> <p>以上と並行して、オンデマンド教材による Python プログラミングの学習を行う。</p>		
成績評価	<p>所属学生の成績評価は、所属した研究室の指導教員がおこなう。</p>		
教職チェックリスト	<p>学習指導力 それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域（科目）で求められる基礎的あるいは専門的な知識や技能を発達段階・学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。・専門領域（科目）で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域（科目）の様々な事象に対する関心や意欲を育む。・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基本的な技能を習得する。・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。・研究についての基本的事項を身につけ、研究の成果を発表する。</p>		
テキスト			
参考文献			
関連する授業科目			
オフィス・アワー			
備考（履修上の注意等）	<p>本科目における実際の指導時間帯については、学生と指導教員の相談によって本時間帯から変更することもある。</p>		

教育実習やインターンシップ等	
実務経験	